

## 第2編 各部署・附属機関・附属施設の歩み

### 第1章 人文社会科学部・ 大学院人文社会科学研究科

#### 資料1 2016年（平成28）度以降の人文社会科学部カリキュラム

文化創生課程（文化資源学コース）

授業科目	単位	年次別単位数								備考
		1		2		3		4		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学部 基本 科目	歴史学入門	2	2							グローバル実践科目を含む、 5科目10単位を修得すること。
	哲学倫理入門	2	2							
	言語学入門	2	2							
	文学入門	2	2							
	社会学入門	2	2							
	経済学入門	2	2							
	経営学入門	2	2							
	会計学入門	2	2							
	統計学入門	2	2							
	法学入門	2	2							
	グローバル実践科目	2	2							
計	22	20	2							
専門 教育 科目	コア 科目	文化資源学	2	2						文化資源学を含む、2科目4 単位を修得すること。
		形態文化論	2	2						
		形態文化史	2	2						
	計	6	6							
	基礎 科目	民俗と文化	2		2					3科目6単位を修得すること。
		言語と文化	2		2					
		文学と文化	2		2					
		思想と文化	2		2					
	計	8		8						
	学部 専門 科目	発展 科目	文化財科学	2		2				
日本考古学			2		2					
西洋考古学			2		2					
芸術史			2		2					
文化財論			2		2					
民俗学			2		2					
日本語学			2		2					
言語学			2		2					
日本古典文学			2		2					
日本近現代文学			2		2					
日本倫理思想			2		2					
西洋倫理思想			2		2					
東アジア思想			2		2					
中国文学A	2		2							

第1章 人文社会科学部・大学院人文社会科学研究科

専 門 教 育 科 目	学 部 専 門 科 目	中国文学B	2		2							
		漢文学A	2		2							
		漢文学B	2			2						
		書道 I	2		2							
		博物館概論	2		2							
		博物館教育論	2			2						
		博物館経営論	2			2						
		言語学演習	2			2						
		考古学実習 I	2		2							
		考古学実習 II	2			2						
		美術史実習 I	2		2							
		美術史実習 II	2			2						
		文化財論実習 I	2		2							
		文化財論実習 II	2			2						
		民俗学実習 I	2		2							
		民俗学実習 II	2			2						
		日本語学演習 I	2		2							
		日本語学演習 II	2			2						
		日本古典文学演習 I	2		2							
		日本古典文学演習 II	2			2						
		日本近現代文学演習 I	2		2							
		日本近現代文学演習 II	2			2						
		日本倫理思想演習 I	2		2							
		日本倫理思想演習 II	2			2						
	西洋倫理思想演習 I	2		2								
	西洋倫理思想演習 II	2			2							
	文化財科学実習 I	2		2								
	文化財科学実習 II	2			2							
	計	84		28	56							
	学 部 専 門 科 目	応 用 科 目	文化資源活用論	2			2					
			地域文化振興論	2			2					
			考古学フィールドワーク実習 I	2				2				
			考古学フィールドワーク実習 II	2					2			
			美術史資料実習 I	2				2				
			美術史資料実習 II	2					2			
			文化財保存活用実習 I	2				2				
			文化財保存活用実習 II	2					2			
			保存科学実習 I	2				2				
			保存科学実習 II	2					2			
			民俗誌実習 I	2				2				
			民俗誌実習 II	2					2			
			地域文化振興実習	2				2				
計			26				16	10				
学 部 専 門 科 目	選 択 科 目	歴史基礎論A	2	2								
		歴史基礎論B	2		2							
		日本史	2			2						
		中国史	2			2						
		西洋史	2			2						
		人類学	2	2								
インターンシップA	2				2							

2科目4単位を修得すること。  
(同実習を I と II 連続して  
修得すること。)

2科目4単位を修得すること。

4科目8単位を修得すること。

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

専門教育科目	学部専門科目	文化資源学コース特設講義A	2			2							
		文化資源学コース特設講義B	2				2						
		文化資源学コース特設講義C	2					2					
		文化資源学コース特設講義D	2						2				
		計	22	4	4	8	4	2					
	ゼミナール	3年次ゼミナールⅠ	2				2						4科目8単位を修得すること。
		3年次ゼミナールⅡ	2					2					
		4年次ゼミナールⅠ	2						2				
		4年次ゼミナールⅡ	2							2			
	計	8				2	2	2	2				
	卒業研究	卒業研究	6								6		卒業研究または特定課題研究のいずれかを修得すること。
		特定課題研究	4								4		
		計	10								10		
本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目		<p>本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目から20単位（特定課題研究を選択した場合は22単位）修得すること。ただし、教養教育科目にあつては、4単位までとする。</p> <p>なお、別表第6教職に関する科目及び別表第7学芸員の資格を取得するための授業科目の中の必修科目（「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館情報・メディア論」、「博物館教育論」を除く。）は含めることはできない。</p> <p>また、上欄学部基本科目・コア科目・基礎科目・発展科目・応用科目・選択科目で指定された修得単位を超えて修得した単位を含めることができる。</p>											
合計											90単位以上修得すること。		
<p>[卒業所要単位数]</p> <p>《教養教育科目》 34単位</p> <p>《専門教育科目》</p> <p>学部基本科目 10単位（必修2単位，選択8単位）</p> <p>学部専門科目</p> <p>コア科目 4単位（必修2単位，選択2単位）</p> <p>基礎科目 6単位</p> <p>発展科目 24単位（選択必修4単位，選択20単位）</p> <p>応用科目 4単位</p> <p>選択科目 8単位</p> <p>ゼミナール 8単位</p> <p>卒業研究 6単位（特定課題研究の場合は4単位）</p> <p>《本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目》 20単位（特定課題研究の場合は22単位）</p> <p>合計 124単位</p>													

文化創生課程（多文化共生コース）

授業科目	単位	年次別単位数								備考	
		1		2		3		4			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門教育科目	学部基本科目	歴史学入門	2	2							グローバル実践科目を含む，5科目10単位を修得すること。
		哲学倫理入門	2	2							
		言語学入門	2	2							
		文学入門	2	2							
		社会学入門	2	2							
		経済学入門	2	2							
		経営学入門	2	2							
		会計学入門	2	2							
		統計学入門	2	2							
		法学入門	2	2							
グローバル実践科目	2	2									
計	22	20	2								

第1章 人文社会科学部・大学院人文社会科学研究科

専 門 教 育 科 目	学 部 専 門 科 目	コア 科 目	多文化共生論	2		2					多文化共生論を含む、3科目 6単位を修得すること。	
			グローバルコミュニケーション論A	2		2						
			文学基礎論A	2		2						
			歴史基礎論A	2		2						
			地域基礎論A	2		2						
			国際共生論A	2		2						
		計	12		12							
		基礎 科 目	グローバルコミュニケーション論B	2			2					言語コミュニケーション実習 I A (英語), (多言語)・ I B (英語), (多言語) を含む、7科目14単位を修得 すること。
			文学基礎論B	2			2					
			歴史基礎論B	2			2					
			多文化基礎論	2			2					
			地域基礎論B	2			2					
			国際共生論B	2			2					
			人文地理A	2			2					
			人文地理B	2				2				
			自然地理A	2			2					
			自然地理B	2				2				
			地誌A	2			2					
			地誌B	2				2				
			言語コミュニケーション実習 I A (英語)	2			2					
言語コミュニケーション実習 I A (多言語)	2				2							
言語コミュニケーション実習 I B (英語)	2				2							
言語コミュニケーション実習 I B (多言語)	2				2							
歴史文化演習A	2			2								
歴史文化演習B	2				2							
トラベルスタディーズA	2			2								
トラベルスタディーズB	2				2							
計	40			26	14							
発 展 科 目	言語文化論	2			2					5科目10単位を修得すること。		
	英語学A	2			2							
	英語学B	2			2							
	英米文学A	2			2							
	英米文学B	2			2							
	日本史	2			2							
	中国史	2			2							
	西洋史	2			2							
	ユーラシア史	2			2							
	沿岸アジア史	2			2							
	西洋古典文化論	2			2							
	欧米文化論A	2			2							
	欧米文化論B	2			2							
	アジア地域学A	2			2							
	アジア地域学B	2			2							
	ヨーロッパ地域学	2			2							
アメリカ・オセアニア地域学A	2			2								
アメリカ・オセアニア地域学B	2			2								
計	36			36								
応 用 科 目	言語コミュニケーション実習 II A (英語)	2				2				言語コミュニケーション実習 II A (英語)・II B (英語) を含む、4科目8単位を修得 すること。		
	言語コミュニケーション実習 II A (多言語)	2				2						
	言語コミュニケーション実習 II B (英語)	2					2					
	言語コミュニケーション実習 II B (多言語)	2					2					
	言語コミュニケーション実習 III A (英語)	2						2				
	言語コミュニケーション実習 III B (英語)	2							2			
計	12					4	4	2	2			

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

専 門 教 育 科 目	学 部 専 門 科 目	文化資源学	2	2						4科目8単位を修得すること。	
		言語と文化	2		2						
		社会調査論	2	2							
		社会学	2	2							
		ミクロ経済学Ⅰ	2	2							
		公法学	2	2							
		経営戦略論	2	2							
		インターンシップA	2				2				
		多文化共生コース特設講義A	2		2						
		多文化共生コース特設講義B	2			2					
		多文化共生コース特設講義C	2				2				
		多文化共生コース特設講義D	2					2			
	計	24	12	4	2	4	2				
	ゼ ミ ナ ー ル	3年次ゼミナールⅠ	2				2			4科目8単位を修得すること。	
		3年次ゼミナールⅡ	2					2			
		4年次ゼミナールⅠ	2						2		
		4年次ゼミナールⅡ	2								2
		計	8				2	2	2		2
	卒 業 研 究	卒業研究	6						6	卒業研究または特定課題研究のいずれかを修得すること。	
		特定課題研究	4						4		
計		10						10			
本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目	<p>本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目から20単位（特定課題研究を選択した場合は22単位）修得すること。ただし、教養教育科目にあつては、4単位までとする。</p> <p>なお、別表第6教職に関する科目及び別表第7学芸員の資格を取得するための授業科目の中の必修科目（「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館情報・メディア論」、「博物館教育論」を除く。）は含めることはできない。</p> <p>また、上欄学部基本科目・コア科目・基礎科目・発展科目・応用科目・選択科目で指定された修得単位を超えて修得した単位を含めることができる。</p>										
合計									90単位以上修得すること。		
[卒業所要単位数]											
《教養教育科目》		34単位									
《専門教育科目》											
学部基本科目		10単位（必修2単位，選択8単位）									
学部専門科目											
コア科目		6単位（必修2単位，選択4単位）									
基礎科目		14単位（必修8単位，選択6単位）									
発展科目		10単位									
応用科目		8単位（必修4単位，選択4単位）									
選択科目		8単位									
ゼミナール		8単位									
卒業研究		6単位（特定課題研究の場合は4単位）									
《本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目》		20単位（特定課題研究の場合は22単位）									
合	計	124単位									

社会経営課程（経済法律コース）

授業科目		単位	年次別単位数								備考
			1		2		3		4		
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学部 基本 科目	歴史学入門	2	2								グローバル実践科目を含む、 5科目10単位を修得すること。
	哲学倫理入門	2	2								
	言語学入門	2	2								
	文学入門	2	2								
	社会学入門	2	2								
	経済学入門	2	2								
	経営学入門	2	2								
	会計学入門	2	2								
	統計学入門	2	2								
	法学入門	2	2								
	グローバル実践科目	2		2							
	計	22	20	2							
	学部 専 門 科目	コア 科目	ミクロ経済学Ⅰ	2		2					
マクロ経済学Ⅰ			2		2						
公法学			2		2						
私法学			2		2						
ミクロ経済学Ⅱ			2			2					
マクロ経済学Ⅱ			2			2					
経済法律基礎演習Ⅰ			2			2					
経済法律基礎演習Ⅱ			2				2				
計			16		8	6	2				
学部 専 門 科目	基礎 科目	財政学	2			2					6科目12単位を修得すること。
		行政学	2			2					
		政治学	2			2					
		憲法	2			2					
		行政法	2			2					
		刑法	2			2					
		経済政策	2			2					
		金融論	2			2					
		国際経済学	2			2					
		経済学史	2			2					
		商法	2			2					
		労働経済学	2			2					
		日本経済史	2			2					
		民法	2			2					
		労働法	2			2					
計	30			30							
学部 専 門 科目	発展 科目	公共政策論	2			2					6科目12単位を修得すること。
		刑事司法論	2			2					
		地方財政論	2			2					
		地方自治論	2			2					
		産業立地論	2			2					
		市場経済論	2			2					
		経済発展論	2			2					
		市場法制論	2			2					
		国際金融論	2			2					
		雇用政策論	2			2					
		消費経済論	2			2					
生活政策論	2			2							

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

専 門 教 育 科 目	学 部 専 門 科 目	社会保障制度論	2			2							
		計	26			26							
		応 用 科 目	自治体政策研究	2			2						2科目4単位を修得すること。
			経済学演習Ⅰ	2				2					
			法学演習Ⅰ	2				2					
			経済学演習Ⅱ	2					2				
			法学演習Ⅱ	2					2				
			地域政策実習	2					2				
			地域行政実習	2					2				
			地域司法実習	2						2			
		計	16			2	6	8					
		選 択 科 目	文化資源学	2	2								4科目8単位修得すること。
			地域文化振興論	2				2					
			多文化共生論	2	2								
			経営戦略論	2	2								
			簿記システムⅠ	2	2								
			地域イノベーション論Ⅰ	2				2					
			現代企業論Ⅰ	2				2					
			地域情報論A	2		2							
			統計データ分析A	2		2							
			職業指導	2		2							
			インターンシップA	2				2					
			経済法律コース特設講義A	2		2							
経済法律コース特設講義B	2					2							
経済法律コース特設講義C	2						2						
経済法律コース特設講義D	2							2					
計	30	8	8	2	10	2							
ゼ ミ ナ ー ル	3年次ゼミナールⅠ	2				2					4科目8単位修得すること。		
	3年次ゼミナールⅡ	2					2						
	4年次ゼミナールⅠ	2						2					
	4年次ゼミナールⅡ	2							2				
	計	8				2	2	2	2				
卒 業 研 究	卒業研究	6							6		卒業研究または特定課題研究のいずれかを修得すること。		
	特定課題研究	4							4				
計	10								10				
本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目	<p>本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目から20単位（特定課題研究を選択した場合は22単位）修得すること。ただし、教養教育科目にあつては、4単位までとする。</p> <p>なお、別表第6教職に関する科目及び別表第7学芸員の資格を取得するための授業科目の中の必修科目（「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館情報・メディア論」、「博物館教育論」を除く。）は含めることはできない。</p> <p>また、上欄学部基本科目・コア科目・基礎科目・発展科目・応用科目・選択科目で指定された修得単位を超えて修得した単位を含めることができる。</p>												
合計										90単位以上修得すること。			
[卒業所要単位数]													
《教養教育科目》	34単位												
《専門教育科目》													
学部基本科目	10単位（必修2単位、選択8単位）												
学部専門科目													
コア科目	10単位（必修4単位、選択6単位）												
基礎科目	12単位												
発展科目	12単位												
応用科目	4単位												
選択科目	8単位												
ゼミナール	8単位												

卒業研究	6単位（特定課題研究の場合は4単位）
《本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目》	
	20単位（特定課題研究の場合は22単位）
合 計	124単位

社会経営課程（企業戦略コース）

授 業 科 目	単 位	年 次 別 単 位 数								備 考
		1		2		3		4		
		前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
学 部 基 本 科 目	歴史学入門	2	2							グローバル実践科目を含む、5科目10単位を修得すること。
	哲学倫理入門	2	2							
	言語学入門	2	2							
	文学入門	2	2							
	社会学入門	2	2							
	経済学入門	2	2							
	経営学入門	2	2							
	会計学入門	2	2							
	統計学入門	2	2							
	法学入門	2	2							
	グローバル実践科目	2		2						
	計	22	20	2						
コ ア 科 目	経営戦略論	2		2						3科目6単位を修得すること。
	ベンチャービジネス論	2		2						
	簿記システムⅠ	2		2						
	計	6		6						
基 礎 科 目	経営管理論	2			2					事業計画演習Ⅰ・Ⅱを含む、10科目20単位を修得すること。
	経営組織論	2				2				
	マーケティング論Ⅰ	2			2					
	マーケティング論Ⅱ	2				2				
	企業経営史Ⅰ	2			2					
	企業経営史Ⅱ	2				2				
	簿記システムⅡ	2			2					
	財務会計Ⅰ	2			2					
	財務会計Ⅱ	2				2				
	原価計算	2			2					
	管理会計	2				2				
	地域データ分析Ⅰ	2			2					
	地域データ分析Ⅱ	2				2				
	事業計画演習Ⅰ	2				2				
	事業計画演習Ⅱ	2					2			
計	30			16	14					
発 展 科 目	地域イノベーション論Ⅰ	2				2				4科目8単位を修得すること。
	地域イノベーション論Ⅱ	2					2			
	現代企業論Ⅰ	2				2				
	現代企業論Ⅱ	2					2			
	社会的企業論	2				2				
	グローバル経営論Ⅰ	2				2				
	グローバル経営論Ⅱ	2					2			
	税務会計A	2				2				
	税務会計B	2					2			
	計	18				10	8			
ビジネス戦略実習Ⅰ	2					2		ビジネス戦略実習Ⅰ・Ⅱを		



第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

専 門 教 育 科 目	応 用 科 目	ビジネス戦略実習Ⅱ	2				2			含む、3科目6単位を修得すること。	
		プロジェクトマネジメント実習Ⅰ	2					2			
		プロジェクトマネジメント実習Ⅱ	2						2		
		スタディツアー	2				2				
		インターンシップA	2				2				
		インターンシップB	2					2			
	計	14				6	4	2	2		
	選 択 科 目	ミクロ経済学Ⅰ	2	2							3科目6単位修得すること。
		マクロ経済学Ⅰ	2	2							
		国際経済学	2		2						
		商法	2		2						
		民法	2		2						
		社会学	2	2							
		地域文化振興論	2				2				
		言語コミュニケーション実習ⅠA（英語）	2		2						
		職業指導	2		2						
		企業戦略コース特設講義A	2		2						
		企業戦略コース特設講義B	2			2					
		企業戦略コース特設講義C	2				2				
	企業戦略コース特設講義D	2					2				
計	26	6	12	2	4	2					
ゼ ミ ナ ー ル	3年次ゼミナールⅠ	2				2				4科目8単位修得すること。	
	3年次ゼミナールⅡ	2					2				
	4年次ゼミナールⅠ	2						2			
	4年次ゼミナールⅡ	2							2		
計	8				2	2	2	2			
卒 業 研 究	卒業研究	6						6		卒業研究または特定課題研究のいずれかを修得すること。	
	特定課題研究	4						4			
計	10							10			
本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目	<p>本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目から20単位（特定課題研究を選択した場合は22単位）修得すること。ただし、教養教育科目にあっては、4単位までとする。</p> <p>なお、別表第6教職に関する科目及び別表第7学芸員の資格を取得するための授業科目の中の必修科目（「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館情報・メディア論」、「博物館教育論」を除く。）は含めることはできない。</p> <p>また、上欄学部基本科目・コア科目・基礎科目・発展科目・応用科目・選択科目で指定された修得単位を超えて修得した単位を含めることができる。</p>										
合計									90単位以上修得すること。		
<p>[卒業所要単位数]</p> <p>《教養教育科目》 34単位</p> <p>《専門教育科目》</p> <p>学部基本科目 10単位（必修2単位，選択8単位）</p> <p>学部専門科目</p> <p>コア科目 6単位</p> <p>基礎科目 20単位（必修4単位，選択16単位）</p> <p>発展科目 8単位</p> <p>応用科目 6単位（必修4単位，選択2単位）</p> <p>選択科目 6単位</p> <p>ゼミナール 8単位</p> <p>卒業研究 6単位（特定課題研究の場合は4単位）</p> <p>《本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目》 20単位（特定課題研究の場合は22単位）</p> <p>合 計 124単位</p>											

社会経営課程（地域行動コース）

授 業 科 目		単 位	年 次 別 単 位 数								備 考
			1		2		3		4		
			前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
学 部 基 本 科 目	歴史学入門	2	2								グローバル実践科目を含む、5科目10単位を修得すること。
	哲学倫理入門	2	2								
	言語学入門	2	2								
	文学入門	2	2								
	社会学入門	2	2								
	経済学入門	2	2								
	経営学入門	2	2								
	会計学入門	2	2								
	統計学入門	2	2								
	法学入門	2	2								
	グローバル実践科目	2		2							
	計	22	20	2							
	コ ア 科 目	社会調査論	2		2						
人類学		2		2							
社会学		2		2							
社会心理学		2		2							
社会言語学		2		2							
計		10		10							
基 礎 科 目	住民生活論A	2			2					6科目12単位を修得すること。	
	住民ネットワーク論A	2			2						
	住民参画論A	2			2						
	地域情報論A	2			2						
	統計データ分析A	2			2						
	基礎地理学A	2			2						
	地域地理学A	2			2						
	社会調査設計演習	2			2						
	地域行動論演習A	2			2						
	社会調査実習I	2			2						
	地域アクションリサーチ実習I	2			2						
	計	22			22						
専 門 専 門 科 目	住民生活論B	2				2				6科目12単位を修得すること。	
	住民ネットワーク論B	2				2					
	住民参画論B	2				2					
	地域情報論B	2				2					
	統計データ分析B	2				2					
	基礎地理学B	2				2					
	地域地理学B	2				2					
	量的社会調査演習	2				2					
	地域行動論演習B	2				2					
	社会調査実習II	2				2					
	地域アクションリサーチ実習II	2				2					
	計	22				22					
発 展 科 目	環境地理学A	2					2			4科目8単位を修得すること。	
	環境地理学B	2						2			
	地域行動論演習C	2					2				
	地域行動論演習D	2						2			
	住民ファシリテーション演習A	2					2				
	住民ファシリテーション演習B	2						2			
	地域フィールドワーク実習I	2					2				

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

専 門 教 育 科 目	学 部 専 門 科 目	地域フィールドワーク実習Ⅱ	2				2					
		地域協働実習Ⅰ	2				2					
		地域協働実習Ⅱ	2					2				
		計	20				10	10				
	選 択 科 目	民俗学	2			2						4科目8単位を修得すること。
		地域文化振興論	2				2					
		地域基礎論A	2	2								
		多文化共生論	2	2								
		マクロ経済学Ⅰ	2	2								
		労働法	2			2						
		地域イノベーション論Ⅰ	2					2				
		地域イノベーション論Ⅱ	2						2			
		言語コミュニケーション実習ⅠA(英語)	2			2						
		言語コミュニケーション実習ⅠB(英語)	2				2					
		職業指導	2			2						
		インターンシップA	2					2				
		地域行動コース特設講義A	2			2						
		地域行動コース特設講義B	2				2					
	地域行動コース特設講義C	2					2					
	地域行動コース特設講義D	2						2				
	計	32	6	8	6	8	4					
	ゼ ミ ナ ー ル	3年次ゼミナールⅠ	2				2					4科目8単位修得すること。
		3年次ゼミナールⅡ	2					2				
		4年次ゼミナールⅠ	2						2			
		4年次ゼミナールⅡ	2							2		
計		8				2	2	2	2			
卒 業 研 究	卒業研究	6							6		卒業研究または特定課題研究のいずれかを修得すること。	
	特定課題研究	4							4			
	計	10							10			
本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目	<p>本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目から20単位（特定課題研究を選択した場合は22単位）修得すること。ただし、教養教育科目にあつては、4単位までとする。</p> <p>なお、別表第6教職に関する科目及び別表第7学芸員の資格を取得するための授業科目の中の必修科目（「博物館概論」、「博物館経営論」、「博物館情報・メディア論」、「博物館教育論」を除く。）は含めることはできない。</p> <p>また、上欄学部基本科目・コア科目・基礎科目・発展科目・応用科目・選択科目で指定された修得単位を超えて修得した単位を含めることができる。</p>											
合計										90単位以上修得すること。		
<p>[卒業所要単位数]</p> <p>《教養教育科目》 34単位</p> <p>《専門教育科目》</p> <p>  学部基本科目 10単位（必修2単位，選択8単位）</p> <p>  学部専門科目</p> <p>    コア科目 6単位（必修2単位，選択4単位）</p> <p>    基礎科目 12単位</p> <p>    発展科目 12単位</p> <p>    応用科目 8単位</p> <p>    選択科目 8単位</p> <p>    ゼミナール 8単位</p> <p>    卒業研究 6単位（特定課題研究の場合は4単位）</p> <p>《本学部及び他学部で開設している教養教育科目又は専門教育科目》</p> <p>  20単位（特定課題研究の場合は22単位）</p> <p>合 計 124単位</p>												

## 資料2 人文社会科学部入学定員及び課程・コースの変遷

### (1) 入学定員の変化

人文学部

2012年度以前		2013-2014年度		2015年度	
前期	220	前期	220	前期	220
後期	65	後期	80	後期	80
推薦 I (センター試験を課さない)	60	推薦 I (センター試験を課さない)	45	推薦 II (センター試験を課す)	45
計	345	計	345	計	345

人文社会科学部

2016年度		2017年度		2018年度以降	
前期	170	前期	170	前期	170
後期	60	後期	60	後期	35
推薦 I (センター試験を課さない)	35	AO入試 I (センター試験を課さない)	35	AO入試 I (センター試験を課さない)	60
計	265	計	265	計	265

### (2) 課程・コースの再編

人文学部

人間文化課程	文化財論コース 思想文芸コース アジア文化コース 欧米文化コース
現代社会課程	国際社会コース 社会行動コース 法学コース
経済経営課程	経済学コース 経営学コース 産業情報コース

2016年度改組



人文社会科学部

文化創生課程	文化資源学コース 多文化共生コース
社会経営課程	経済法律コース 企業戦略コース 地域行動コース

## 資料3 地域未来創生センター主催事業一覧

2014年度

開催日	事業名	講師	連携団体
2014. 10. 14	「日常生活をデザインするとは？」	コモネン氏(アールト大学)	-
2014. 10. 21	地域未来創生セミナー①「フィンランドでは人口問題がどう捉えられているか」	アルホユハ氏・ウルフラジモチ氏(ヘルシンキ大学)	(共催)津軽地域づくり研究会・地域社会研究科
2014. 11. 1	地域未来創生prj事業「青森県の裁判員裁判-これまでの5年間を振り返る-」	飯考行氏(専修大学)ほか	(共催)教育学部
2014. 11. 3	地域未来創生prj事業 弘前大学人文学部国際公開講座2014「日本を知り、世界を知る」	マシュートンプソン氏(上智大学)ほか	(共催)弘前市教育委員会・外ヶ浜町
2014. 11. 18	地域未来創生セミナー②「人口動態を捉える目を鍛える」	小池司朗氏(国立社会保障・人口問題研究所)	(共催)津軽地域づくり研究会・地域社会研究科
2014. 11. 26	地域未来創生センターフォーラム「人文学部×岩木健康増進prj./COI連携にむけて」	中路重之氏(弘前大学)	(共催)弘前大学人文学部
2014. 12. 3	学生発、地域未来創生プロジェクト活動成果発表会 ～地域を動かしてゆくには?～	高橋哲史氏(弘前シードル工房kimori 代表) 鹿内葵氏(スポネット弘前理事長)	-
2014. 12. 17	地域未来創生セミナー③「人口減少社会で求められる社会保障とはいかなるものか」	西村幸満氏ほか(国立社会保障・人口問題研究所)	(共催)津軽地域づくり研究会・地域社会研究科
2015. 1. 10	公開講演会「さまよい始めた世界遺産-暫定リストの行方-」	国士舘大学イラク古代文化研究所所長 岡田保良先生	(後援)弘前市教育委員会
2015. 1. 25	公開シンポジウム「津軽の年占行事『七日堂祭』を考える」	古川実氏(青森県民俗の会)ほか	(共催ほか)青森県民俗の会
2015. 1. 30	地域未来創生セミナー④「人口減少社会で求められる地域と大学との関わりについて」	野口拓郎氏(島根県中山間地域研究センター)	(共催)津軽地域づくり研究会・地域社会研究科
2015. 2. 5	地域未来創生セミナー⑤「中山間地域への移住と自給的農林業の可能性について」	相川陽一氏(長野大学)	(共催)津軽地域づくり研究会・地域社会研究科
2015. 2. 23	東奥義塾高校所蔵旧弘前藩藩校「稽古館」資料・調査報告会	北原かな子氏ほか	(共催)北原研究所
2015. 2. 27	センターフォーラム「青森県における新たな価値に基づく生き方モデル探求の基盤構築」	長谷川成一氏(弘前市立博物館館長)ほか	(共催)弘前大学人文学部

2015年度

開催日	事業名	講師	連携団体
2015.5.3	公開特別セミナー「りんご産業と管理会計」	中田信雄氏（ほたる農園） ほか	（共催）メルコ学術振興財団・人文学部
2015.7.11	第29回 大阪大学野田村サテライトセミナー「野田村の宝を語ろうー地域資源としての「農業」と「趣味活動」	永田素彦氏（京都大学） ほか	（共催）大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
2015.9- 2016.1	多世代共創社会研究会「つがるブランド地域先導ナース育成事業」	須藤悟氏（弘前市健康福祉部）ほか	医学部保健学科
2015.9.11	第31回 大阪大学野田村サテライトセミナー「野田村の地域力を語ろうー東京の大学研究室から見えた野田村の宝ー」	市古太郎氏（首都大学東京大学院）ほか	（共催）大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
2015.10.16	センターフォーラム「地方回帰～UJIターン促進政策を模索する～」	石黒格氏（日本女子大学） ほか	（共催）弘前大学人文学部
2015.10.17- 11.21	「小川原湖民俗博物館と渋沢敬三展」	-	（共催）弘前大学資料館
2015.11.3	弘前大学人文学部国際公開講座2015「海をこえて世界とつながる人文学」	荷見守義ほか	（共催）人文学部
2015.11.9- 13	旧弘前藩校稽古館資料一般公開「東奥義塾高等学校図書館所蔵古典籍展観」	-	（共催）東奥義塾高等学校・北原研究所・人文学部
2015.11.29	太宰治「津軽弁×フランス語」コラボ朗読会	-	（共催）津軽カタリスト
2015.12.3	センターフォーラム「ヨーロッパにおけるソーシャル・イノベーションの現在」	Peter Oeij氏（オランダ応用科学研究所）ほか	-
2015.12.11	第34回 大阪大学野田村サテライトセミナー「野田村の宝を語ろうー市日とのだ塩の魅力ー」	永田素彦氏（京都大学） ほか	（共催）大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
2015.12.23	2015年度東奥義塾高校所蔵「旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会」	前田雅之氏（明星大学） ほか	（共催）北原研究所・人文学部
2015.12.26	「消費者フォーラム」in HIROSAKI	保田宗良ほか	（共催）青森県消費者問題研究会
2015.12.26	「弘前×フランス」プロジェクト2015報告会	熊野真規子ほか	（共催）科研「異文化間能力養成のための教材と評価基準の開発およびその有効性の検証」・科研「社会実験的アプローチによる地方都市の複言語・複文化モデル構築と地域活性化検証」
2016.1.25	「第17回 介護文化研究会」	安部よし子氏（弘前メディアカルセンター）	-

第2編 各部局・附属機関・附属施設の歩み

2016. 1. 27	公開シンポジウム「コメの自然栽培と地域農業の活性化―耕作放棄地の再生―」	木村秋則氏（木村興農社） ほか	-
2016. 2. 6	〔MLA連携事業〕ワークショップ「市民と文化財―利用・活用・学習を考える―」	竹村俊哉氏（青森県立郷土館）ほか	（共催）北原研究所・人文学部
2016. 2. 10	センターフォーラム「地方創生のゆりかごとしての知識インフラ」	ジェフリー・パウカー氏（カリフォルニア大学）	（共催）科研費補助金基盤研究A
2016. 2. 27	シンポジウム「芸能が人を引きつける力」	青森県佐井村古佐井共済会 ほか	-

2016年度

開催日	事業名	講師	連携団体
2016. 5. 15	「弘前×フランス」プロジェクト「ペタンクであそぼう！」	-	（共催）弘前市ペタンク協会
2016. 9. 17-26	「弘前×フランス」週間	-	（主催）「弘前×フランス」プロジェクト （後援）在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本
2016. 9. 24	地域未来創生センターフォーラム 市民と文化財 「博物館的想像力 渋沢敬三と今和次郎―民具学・考現学と青森県―」	丸山泰明氏（天理大学） ほか	（後援）青森県教育委員会、弘前市教育委員会、三沢市教育委員会、東奥日報社、陸奥新報社、デーリー東北新聞社
2016. 10. 6	講演会（2016年度第2回青森家庭少年問題研究会学習会） 「性犯罪の予防と薬物依存からの更生」	木崎智之氏（ティーンチャレンジ・インターナショナル・ジャパン エグゼクティブ・ディレクター）	（主催）青森家庭少年問題研究会 （共催）NPO団体 ファミリー・リカバリー・センター
2016. 10. 29	シンポジウム「裁判員裁判と被告人の更生」	五十嵐弘志氏（特定非営利活動法人マザーハウス理事長）ほか	（主催）弘前大学人文社会科学部、教育学部
2016. 11. 3	弘前大学人文社会科学部 国際公開講座 2016「日本を知り、世界を知る」 日本から世界へ―時空をこえる人文学― 【文化の日は、弘前大学へ行こう！】	李愛淑氏（国立韓国放送通信大学校）ほか	（主催）弘前大学人文社会科学部 （後援）弘前市、東奥日報社、陸奥新報社
2016. 12. 18	2016年度旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会	膽吹覚氏（福井大学国際センター）ほか	（主催）弘前大学人文社会科学部 （共催）東奥義塾高等学校、(株)北原研究所 （後援）東奥日報社、陸奥新報社
2017. 1. 25	コメの自然栽培を考える	木村秋則氏（木村興農社） ほか	-

2017. 1. 28	消費者フォーラム in HIROSAKI	坂本久美子氏（青森県消費生活センター）ほか	（共催）青森県消費者問題研究会 （後援）青森県消費者協会
2017. 2. 3	地域未来創生センターフォーラム 「人口減少社会における持続可能な地域づくりを考える」	丸尾豊氏（青森県企画調整課長代理）ほか	（後援）青森県、青森県教育委員会、弘前市、弘前市教育委員会、東奥日報社、陸奥新報社

2017年度

開催日	事業名	講師	連携団体
2017. 8. 1-8. 2	平成29年度 JSPS 二国間交流事業共同研究/セミナー「地方大学生の地元就職の決定要因とその促進策」	太田聰一氏	（後援）青森県, 弘前市
2017. 11. 3	弘前大学人文社会科学部 国際公開講座 2017「日本を知り、世界を知る」 今こそ人文学—人間の世界を見つめるまなざし—【文化の日は、弘前大学へ行こう！】	文明載氏 （韓国外語大学校）ほか	（主催）弘前大学人文社会科学部 （後援）弘前市, 東奥日報社, 陸奥新報社
2017. 11. 25	平成29年度地域未来創生センター×青森県民俗の会 東北6県合同研究フォーラム 『民俗資料の「発見」と新たな「活用」の可能性を探る』	増田公寧氏 （青森県民俗の会）ほか	（主催）青森県民俗の会 （後援）青森県教育委員会、弘前市教育委員会、三沢市教育委員会
2017. 12. 2	シンポジウム「裁判員裁判を地域に根づかせるために」	藤井剛氏 （明治大学）ほか	（主催）弘前大学教育学部 （後援）青森家庭少年問題研究会
2017. 12. 9	犯罪被害者遺族講演会「最愛の娘を奪われて～事件後、遺族にもたらすもの～」	山内久子氏 （秋田看護福祉大学）	（後援）青森家庭少年問題研究会
2017. 12. 17	2017年度東奥義塾高校所蔵 旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会	小川剛生氏 （慶應義塾大学）ほか	（共催）株式会社北原研究所、東奥義塾高等学校 （後援）弘前市、東奥日報社、陸奥新報社
2018. 1. 20	平成29年度地域未来創生センターフォーラム「自然栽培法がもたらす付加価値について—販売・加工の側面から—」	福島徹氏 （株式会社福島屋 会長） ほか	（共催）青森県木村式自然栽培実行委員会
2018. 2. 23	平成29年度地域未来創生センターフォーラム「文化“財”の活用を通じた地域デザインを考える」	大河内智之氏 （和歌山県立博物館）ほか	（後援）青森県、青森県教育委員会、弘前市、弘前市教育委員会、東奥日報社、陸奥新報社



第2編 各部署・附属機関・附属施設の歩み

2018. 3. 10	平成29年度地域未来創生センターフォーラム 「東日本大震災からの復興を考える-小規模被災地域における人口動態と復興政策-」	永田素彦氏（京都大学） ほか	（後援）弘前市、弘前大学ボランティアセンター チーム北リアス、野田村、弘前市社会福祉協議会、野田村社会福祉協議会
-------------	--	-------------------	---

2018年度

開催日	事業名	講師	連携団体
2018. 7. 6	2018年度深浦円覚寺古典籍保存調査プロジェクト成果報告会	永村慎氏 （日本女子大学）ほか	（主催）深浦町、弘前大学、深浦町教育委員会 （後援）東奥日報社、陸奥新報社
2018. 11. 3	弘前大学人文社会科学部 国際公開講座 2018 「日本を知り、世界を知る」 人文学の創造カー 世界の見方を変える 【文化の日は、弘前大学へ行こう！】	徐仁範氏（東国大学校）、 小川剛生氏（慶應義塾大学） ほか	（主催）弘前大学人文社会科学部 （後援）弘前市、東奥日報社、陸奥新報社
2018. 11. 24	シンポジウム「裁判員の経験を生かす」	飯考行氏 （専修大学）ほか	（主催）弘前大学人文社会科学部、教育学部
2018. 12. 16	2018年度東奥義塾高校所蔵 旧弘前藩藩校稽古館資料調査報告会	白井純氏 （信州大学）ほか	（共催）株式会社北原研究所、東奥義塾高等学校 （後援）弘前市、東奥日報社、陸奥新報社

## 資料4 北日本考古学研究センターによる成果公開

### （1）センター主催のミニ特別展・企画展等 （2013年度以前は亀ヶ岡文化研究センター）

2009年10月23日-11月1日	寄贈記念特別展成田彦栄氏考古資料展
2010年4月27日-5月9日	弘前大学所蔵の土偶展（弘前大学創立50周年記念会館）
2010年10月22日-11月23日	下北半島の亀ヶ岡文化
	蓑虫山人筆「陸奥全国神代石古陶之図」特別公開
2011年10月21日-11月27日	北日本の木の文化史
2012年10月26日-11月25日	発掘 知の遺産 ※青森県立郷土館「企画展 寄贈記念 成田彦栄コレクション」との共同企画展
2013年8月30日-9月8日	発掘 中山遺跡（五城目町「文化の館」における出張展示）
2013年10月25日-11月24日	八郎潟の縄文から弥生
2014年10月18日-11月24日	東北の弥生化 縄文時代が変わるとき
2015年10月10日-11月15日	文理融合の考古学

2016年8月1日-10月29日	弘前大学の考古学—弘大考古のあゆみとその成果— ※弘前大学資料館との共催
2016年10月8日-11月13日	大五月女菫展
2017年10月7日-11月12日	大山王冢展
2018年10月6日-11月11日	津軽に稲作がやってきた！本州北限の水稲農耕文化

(2) 刊行物 (2013年度以前は亀ヶ岡文化研究センター)

2009年	『成田コレクション考古資料図録』 『佐藤菫 考古画譜Ⅰ』 『佐藤菫 考古画譜Ⅱ』
2010年	『成田彦栄氏考古・アイヌ民族資料図録』 『成田彦栄氏旧蔵図書目録』 『佐藤菫 考古画譜Ⅲ』 『縄文デザイン集1』
2012年	『下北半島における亀ヶ岡文化の研究 青森県むつ市不備無遺跡発掘調査報告書3分冊』
2014年	『亀ヶ岡文化の低湿地遺跡：戸平川遺跡・亀ヶ岡遺跡・石郷遺跡・八幡崎遺跡・羽黒平遺跡のボーリング調査報告』 『亀ヶ岡文化の漆工芸Ⅰ：土井1号遺跡の漆製品の自然科学・保存科学的調査報告』 『日本の出土米Ⅰ：弥生時代から中世までの全国で出土した米の形態・DNA分析調査報告』
2015年	『日本の出土米Ⅱ：佐藤敏也コレクションの研究』 『亀ヶ岡文化の漆工芸Ⅱ：北日本における先史資源利用の研究 (冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト研究報告書)』
2016年	『八郎潟沿岸における低湿地遺跡の研究 (冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト研究報告書)』
2017年	『八郎潟沿岸における縄文時代晩期末の研究：下台遺跡発掘調査報告書』
2018年	『八郎潟沿岸の亀ヶ岡文化：中山遺跡・高石野遺跡・大沢Ⅰ遺跡出土資料の研究』 『日本の出土米Ⅲ：佐藤敏也コレクションの研究2』